

2025/7/28

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(7月21日～7月25日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,392.1	1,393.0	1,365.1	1,377.9	▲15.1
JPY/KRW	9.3766	9.4309	9.3140	9.3757	+0.012
KOSPI	3,191.11	3,237.97	3,141.93	3,196.05	+7.98

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初ドル/ウォンは1,392.1ウォンでオープン。直後に1,393.0ウォンの高値をつけるも、その後は売りに押される展開。前週末に米FRB高官がハト派な発言をしたことや、インフレ期待の軟化を受けて米金利が低下推移したことで、翌22日にかけて1,380ウォン台前半まで下落した。週央にかけても米ベッセント財務長官がFRB議長の早期退任論を否定する発言をしたことで、米金融政策不安定化懸念が後退し米金利は低下。また、日本が米国と関税合意に至ったことが発表されたことでウォン買いが進む場面が見られた。24日には米国とEUや中国との関税合意に向けた期待感がサポート材料となり、一時1,365.1ウォンまで下落。韓国が予定していた米国との2+2貿易協議は直前でキャンセルになったことが伝えられたものの、相場への影響は限定的だった。25日は良好な経済指標を受けて米金利が上昇したことでドル売りが一服。結局、前週末比▲15.1ウォンの1,377.9ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は揉み合い推移か。今週最大の注目は韓国と米国の関税交渉の行方であるが、基本的に妥結に至れば不確実性の後退を受けてウォン買いが進行しよう。また、今週はFOMCを控えトランプ大統領の利下げ圧力にFRBがどう対処するかも注目したい。8月1日の米関税適用を前に為替相場はボラティルな展開が想定されるも、若干ドル/ウォンは下目線か。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1360 ~ 1390	9.20 ~ 9.50	145.5 ~ 148.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 29日(火) 米 7月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 30日(水) 欧 7月 消費者信頼感指数 確報値
 - 米 7月 ADP雇用統計
 - 米 2Q GDP 一次速報
 - 米 FOMC 政策金利発表
 - 欧 2Q GDP 速報値
- 31日(木) 米 7月 失業保険新規申請者数
 - 日 6月 鉱工業指数 速報値
 - 中 7月 製造業PMI
 - 中 7月 非製造業PMI
 - 米 6月 個人所得
 - 米 6月 個人消費
- 1日(金) 米 7月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
 - 欧 7月 製造業PMI 確報値
 - 米 7月 製造業PMI 確報値
 - 米 7月 ISM製造業景況指数
 - 米 7月 非農業部門雇用者数
 - 米 7月 失業率
 - 日 6月 失業率